

更なるごみの減量化について

1. ごみ排出量

1. ごみ排出量の推移(過去5年間)

単位：t/年

区分		年度	H27	H28	H29	H30	R元	前年度比較	
家庭系ごみ	燃やすごみ		12,372	11,736	11,123	11,108	11,325	217	
	粗大ごみ		305	555	244	286	332	46	
	不燃ごみ	直接埋立・スプレー缶		391	301	204	199	206	7
		破碎		0	80	360	446	472	26
		危険		0	15	34	36	36	0
		小計		391	396	598	681	714	33
	資源ごみ	プラ容器包装		0	176	355	354	359	5
		空きカン		65	42	48	58	64	6
		空きビン		434	405	411	397	367	△30
		ペットボトル		159	153	147	158	161	3
		紙パック		3	7	2	1	2	1
		古紙・段ボール		0	136	232	226	224	△2
		白色トレイ		3	2	0	0	0	0
		乾電池		18	18	14	15	17	2
小型家電			10	4	6	5	13	8	
	小計		692	943	1,215	1,214	1,207	△7	
	計		13,760	13,630	13,180	13,289	13,578	289	
事業系ごみ	燃やすごみ		3,536	3,362	3,313	3,388	3,418	30	
	不燃ごみ		980	1,080	126	138	114	△24	
	埋立ごみ		173	219	15	17	11	△6	
	汚泥		0	0	0	0	0	0	
	剪定枝		151	134	107	116	102	△14	
	不法投棄・災害ごみ等		16	47	13	22	20	△2	
	計		4,856	4,842	3,574	3,681	3,665	△16	
排出量合計			18,616	18,472	16,754	16,970	17,243	273	
集団回収			2,188	2,228	2,093	2,000	1,926	△74	
総排出量			20,804	20,700	18,847	18,970	19,169	199	

表：ごみ排出量の推移【ごみ種類別】

2. 一人一日当たりのごみ排出量

単位：g/人・日

区分		年度	H27	H28	H29	H30	R元	前年度比較	
家庭系ごみ	燃やすごみ		503.5	472.6	441.9	436.8	442.2	5.40	
	粗大ごみ		12.4	22.4	9.7	11.2	13.0	1.80	
	不燃ごみ	直接埋立（埋立）		15.9	12.1	8.1	7.8	8.0	0.20
		破碎		-	3.2	14.3	17.5	18.4	0.90
		危険		-	0.6	1.4	1.4	1.4	0.00
		小計		15.9	15.9	23.8	26.8	27.9	1.10
	資源ごみ	プラ容器包装		-	7.1	14.1	13.9	14.0	0.10
		空きカン		2.6	1.7	1.9	2.3	2.5	0.20
		空きビン		17.7	16.3	16.3	15.6	14.3	△ 1.30
		ペットボトル		6.5	6.2	5.8	6.2	6.3	0.10
		紙パック		0.1	0.3	0.1	0.0	0.1	0.10
		古紙・段ボール		-	5.5	9.2	8.9	8.7	△ 0.20
		白色トレイ		0.1	0.1	-	-	-	0.00
		乾電池		0.7	0.7	0.6	0.6	0.7	0.10
		小型家電		0.4	0.2	0.2	0.2	0.5	0.30
	小計		28.2	38.0	48.3	47.7	47.1	△ 0.60	
	計		560.0	548.9	523.6	522.5	530.1	7.60	
事業系ごみ	燃やすごみ		143.9	135.4	131.6	133.2	133.4	0.20	
	不燃ごみ		39.9	43.5	5.0	5.4	4.5	△ 0.90	
	埋立ごみ		7.0	8.8	0.6	0.7	0.4	△ 0.30	
	汚泥		-	-	-	-	-	0.00	
	剪定枝		6.1	5.4	4.3	4.6	4.0	△ 0.60	
	不法投棄等		0.7	1.9	0.5	0.9	0.8	△ 0.10	
		計		197.6	195.0	142.0	144.7	143.1	△ 1.60
排出量合計			757.7	743.9	665.6	667.3	673.2	5.90	
集団回収			89.0	89.7	83.1	78.6	75.2	△ 3.40	
総排出量			846.7	833.6	748.7	745.9	746.4	0.50	

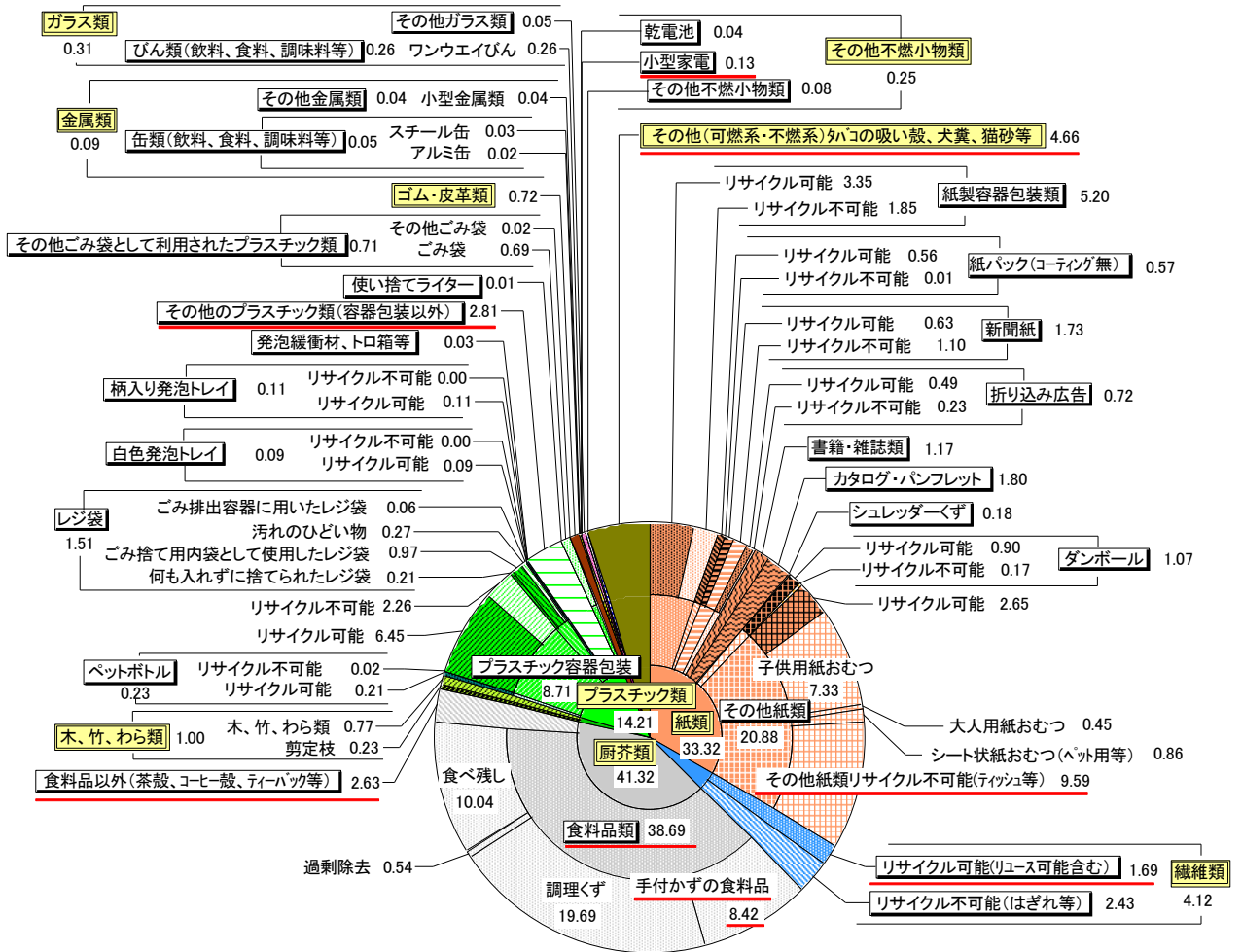
表：一人一日当たりのごみ排出量の推移【ごみ種類別】

3. 京田辺市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画との比較

「京田辺市一般廃棄物(ごみ)処理基本計画」(平成28年2月)における推計値との比較

項目	単位	推計値	実績	比較	
		令和元年	令和元年		
家庭系ごみ	燃やすごみ	(t/年)	11,220	11,325	105
	粗大ごみ	(t/年)	297	332	35
	不燃ごみ(埋立ごみ)	(t/年)	676	714	38
	資源ごみ	(t/年)	2,535	1,207	△ 1,328
	計	(t/年)	14,728	13,578	△ 1,150
事業系ごみ	燃やすごみ	(t/年)	3,216	3,418	202
	不燃ごみ	(t/年)	569	114	△ 455
	埋立ごみ	(t/年)	150	11	△ 139
	剪定枝	(t/年)	146	102	△ 44
	不法投棄等	(t/年)	11	20	9
計	(t/年)	4,092	3,665	△ 427	
排出量	(t/年)	18,820	17,243	△ 1,577	
集団回収量	(t/年)	2,371	1,926	△ 445	
総排出量	(t/年)	21,191	19,169	△ 2,022	
焼却量	(t/年)	15,617	15,689	72	
リサイクル量	(t/年)	5,197	3,398	△ 1,799	
(リサイクル率)	(%)	24.5	17.7	△ 6.80	
最終処分量	(t/年)	2,189	1,955	△ 234	
(最終処分量)	(%)	10.3	10.2	△ 0.13	

2. 平成30年度ごみ組成調査



※ごみ中に排出されているが微量で割合が算定できない物は0.00と表記している。
 ※流出水分等は厨芥類(食べ残し)に含めた。

- (注1) 【食品ロス】
 = 食べ残し (10.04%) + 過剰除去 (0.54%) + 手付かずの食品 (8.42%) = **19.00%**
- (注2) 【紙おむつ】
 = 子供用紙おむつ (7.33%) + 大人用紙おむつ (0.45%) = **7.78%**
- (注3) 【従来からの古紙類 (リサイクル可能)】
 = 紙バック (コーティング無) (0.56%) + 新聞紙 (0.63%) + 折り込み広告 (0.49%) + 書籍・雑誌 (1.17%) + ダンボール (0.90%) = **3.75%**
- (注4) 【雑がみ】
 = 紙製容器包装類リサイクル可能 (3.35%) + カタログ・パンフレット (1.80%) + その他紙類リサイクル可能 (2.65%) = **7.80%**
- (注5) 【リサイクル可能なプラスチック容器包装】
 = プラスチック容器包装 (6.45%) + 何も入れずに捨てられたレジ袋 (0.21%) + ごみ捨て用内袋として使用したレジ袋 (0.97%) + 白色発泡トレイ (0.09%) + 柄入り発泡トレイ (0.11%) + 発泡緩衝材、トコ箱等 (0.03%) = **7.86%**
- (注6) 【リサイクル不可能なプラスチック容器包装】
 = プラスチック容器包装 (2.26%) + 汚れのひどい物 (0.27%) + ごみ排出容器に用いたレジ袋 (0.06%) = **2.59%**
- (注7) 【リサイクル可能な紙類】
 = (注3) 【従来からの古紙類】 (3.75%) + (注4) 【雑がみ】 (7.80%) = **11.55%**

出典: 「平成30年度京田辺市ごみ組成調査報告書」(平成31年3月)を一部加筆

1. ごみ組成調査の結果を受けて

※ 令和元年度 燃やすごみ（収集量）・・・11,279 t

項目	組成割合	重量換算
食品ロス	19.00%	2,143 t
リサイクル可能なプラスチック容器包装	7.86%	887 t
リサイクル可能な紙類	11.55%	1,302 t
合計	38.41%	4,332 t

令和元年度に置き換えた場合、燃やすごみ（11,279 t）の19.00%（2,143 t）が、いわゆる食品ロスに該当します。

また、リサイクル可能なプラスチック容器包装（7.86%、887 t）とリサイクル可能な紙類（11.55%、1,302 t）についても、資源ごみとして処理することができるものです。

→ 京田辺市では、令和5年度までに

- ① ごみ総排出量を一人一日780 gに引き下げる
- ② リサイクル率を26.0%まで向上させる

とする数値目標を設定しています。

項目	数値目標 (令和5年度)	実績 (令和元年度)
一人一日当たりのごみ総排出量	780 g	746 g
リサイクル率	26.0%	17.7%

一人一日当たりのごみ総排出量については、既に目標を達成している一方、リサイクル率については、17.7%と目標値より低くなっています。

市では、燃やすごみの減量（資源ごみとしての排出）を引き続き、市民の皆さんに呼びかけ、啓発活動に力を入れていきます。

3. 啓発活動

- 1 掲載テーマ
「ごみ減量大作戦」
- 2 掲載期間
令和2年4月1日号～令和2年9月1日号（毎月1回、1日号）
- 3 掲載内容（予定）

令和2年度	
1回目 (4月1日号)	シリーズ① ごみの内訳をチェック！ ● 平成30年度ごみ組成調査の報告
2回目 (5月1日号)	シリーズ② 「食品ロス」をなくそう ● 食品ロスの現状 ● 私たち一人ひとりができること
3回目 (6月1日号)	シリーズ③ 生ごみ3きり運動について ● 生ごみ3きり運動（「使いきり」「食べきり」「水きり」） ● 生ごみ自家処理容器等の設置費補助制度
4回目 (7月1日号)	シリーズ④ マイバッグの活用 ● マイバッグを持とう（レジ袋有料化がスタート）
5回目 (8月1日号)	シリーズ⑤ （仮）紙ごみの出し方について ● 雑紙の回収 ● 紙ごみの具体例
6回目 (9月1日号)	シリーズ⑥ （仮）プラスチック容器包装の出し方 ● プラスチック容器包装のリサイクル（固形燃料化） ● プラスチック容器包装の具体例

○ 広報ほっと京たなべ4月1日号



**ごみ減量
GOMI weight loss project
大作戦**



【燃やすごみの組成割合】

シリーズ① ごみの内訳をチェック!

市は、平成28年2月に策定した市一般廃棄物（ごみ）処理基本計画で、令和5年度までに、次の目標を掲げています。

- ▼ごみ総排出量を1人1日780gに引き下げる
- ▼リサイクル率を26%まで向上させる

平成30年度の実績では、1人1日当たりのごみ総排出量は746gで、目標を達成している一方、リサイクル率は18%で、目標値より8ポイント低くなっています。そこで市は、さらなるごみの減量化・資源化を進める上での基礎資料とするため、「燃やすごみ」と「プラスチック容器包装」の組成調査を行いました（=写真④）。

調査の結果、燃やすごみの中で最も多かったのは炊事場から発生する生ごみなどの厨芥（ちゅうかい）類で41%でした（=上図）。そのうち約半

分が、食べ残し・過剰除去（=写真⑤）・手付かずの食料品（=写真⑥）などの食品ロスで、燃やすごみ全体の19%を占めました。


2番目は、紙類で33%でした。紙類の中には、新聞紙、折り込み広告、書籍・雑誌類、段ボール、紙パックなどリサイクル可能な紙類が全体の12%混入していました。また、プラスチック類の中には、別区分で、リサイクル可能なプラスチック容器包装が8%含まれていました。

エコな取り組みをさらに進めるため、ごみの減量化・資源化につながる情報を、今号より6回シリーズでお知らせします。

問合せ先＝清掃衛生課（☎68-1288）





○ 広報ほっと京たなべ5月1日号



**ごみ減量
GOMI weight loss project
大作戦**

シリーズ②「食品ロス」をなくそう

MOTTAINAI
もったいない



手付かずの食料品（平成30年度ごみ組成調査より）

農林水産省と環境省の平成28年度の推計によると、日本では、年間2,759万トンもの食品廃棄物などが排出され、このうち、食べられるにも関わらず捨てられた「食品ロス」は、年間643万トンに上ります。これは世界の食料援助量の2倍に相当し、国民1人あたりでは、毎日お茶碗1杯分のごはんを捨てている計算になります。

平成29年度の日本の食料自給率は38%と、大半を輸入に頼っていますが、一方で、食べられる食料品を大量に廃棄しているという現実があるのです。

私たち一人ひとりができること

食品ロスを減らすための小さな行動も、一人ひとりが取り組むことで大きな削減につながります。皆さんのご協力をお願いします。

■家庭で

- ▼冷蔵庫・食品庫にある食材を確認する
- ▼食材は必要な分だけ買う
- ▼利用予定と照らし、消費期限を確認する
- ▼残っている食材から使う
- ▼家族の予定や体調に応じて、食べきれる量を作る
- ▼記載された保存方法に従い適切に保存する

■外食時に

- ▼食品ロス削減に積極的に取り組んでいる店を選ぶ
- ▼小盛りやハーフサイズのメニューを活用し、食べきれない量だけ注文する
- ▼食べきれなかった料理は、持ち帰れないか店と相談する

問合せ先＝清掃衛生課（☎68-1288）

ごみ減量 GOMI weight loss project 大作戦

市が、平成30年度に家庭から排出されるごみの組成調査を行った結果、燃やすごみの約4割が生ごみなどの厨芥（ちゅうかい）類で、そのうち約2割が食べ残しや過剰除去・手付かずの食料品などの食品ロスでした。

食品ロスや水分を多く含んだ生ごみは、「3きり運動」で削減することが可能です。今日から各家庭で取り組みましょう。

■使いきり

食材は無駄なく使いきりましょう。
また、買い物の前には冷蔵庫の中を確認し、同じ食材を買わないようにしましょう。

消費期限と賞味期限

消費期限…袋や容器を開けず、書かれた保存方法を守って保存した場合「安全に食べられる期限」のこと。傷みやすい食品に表示されています

賞味期限…袋や容器を開けず、書かれた保存方法を守って保存した場合「品質が変わらずにおいしく食べられる期限」のこと。消費期限に比べると傷みにくい食品に表示されており、期限を過ぎてもすぐに食べられなくなるわけではありません。賞味期限の過ぎた食品は、見た目や臭いなどで個別に判断しましょう

シリーズ③生ごみ「3きり運動」

☎清掃衛生課 (☎68-1288)

MOTTAINAI

もったいない

■食べきり

料理は残さず、おいしく食べきりましょう。余った料理は上手に保存しましょう。

■水きり

生ごみを出すときは、水気を切りましょう。生ごみの約8割は水分といわれており、水きりをすることで、生ごみの量を減らすことができます。また、ごみ焼却施設の焼却効率が上がり、CO2排出量やごみ処理経費の削減にもつながります。

水切りのポイント

- 濡らさない…野菜の「へた」など、使わない部分は洗う前に切り落とす
- 絞る…水切りネットなどを活用してギュッと絞る
- 乾燥させる…茶殻や野菜の皮などは、捨てる前に乾燥させる

◎生ごみ処理機の購入費を助成

市は、家庭の生ごみ量を大幅に減らすことができる、生ごみ自家処理容器の購入費用を補助しています。

対象＝電気式・コンポスト・EM容器
補助額＝購入価格の2分の1
上限は、電気式20,000円、コンポスト・EM容器4,000円。
申請方法など、詳しくは問い合わせてください。

